

神楽会館 だより

K A G U R A K A I K A N



5月定期公演 (5月19日)

- ・柴山八幡社付属柴山俵楽 (豊後大野市千歳町)
- ・横堀岩戸神楽保存会 (阿蘇市波野)



▲第1幕「魔払」 横堀岩戸神楽保存会

天照大御神が、葦原の中津国を平定するため多くの神々を派遣し怨敵を退散させるという物語の舞いです。



▲第2幕「神逐」 柴山八幡社付属柴山俵楽

天照大御神の岩戸隠れ事件の原因である須佐之男命を高天原から追放するという物語の舞いです。



▲第3幕「柴曳」 横堀岩戸神楽保存会

アメノコヤネノミコトとフトタマノミコトが天香具山の真榊をかいっぱい引き抜く様子をあらわした物語の舞いです。



▲第4幕「八雲」 柴山八幡社付属柴山俵楽

須佐之男命が八岐大蛇を退治し、櫛名田比売と結ばれるという物語の舞いです。

横堀岩戸神楽保存会は「魔払」「柴曳」を披露。「柴曳」では荒神とお客様との力比べが見応えがあり、荒神に抱っこされた方たちもいて盛り上がりました。柴山八幡社付属柴山俵楽は、須佐之男命と神々の攻防が楽しかった「神逐」と、92歳のお姫様も登場した「八雲」を披露。八岐大蛇に見立てた俵も見事で、おもちゃまかれ、みなさん喜んでいました。両団体の勇壮な舞がお見事で、あっという間に感じた3時間でした。

<来場者の声>

- 【柴山八幡社付属柴山俵楽】 ●お囃子がとてもよかったです。特に笛は最高で心打たれました。 ●神逐の4人の舞が素晴らしかった。 ●八雲の92歳の方に感動！ ●柴山神楽最高でした。また観たいです。
- 大太鼓の人が最後までやっていたのと92歳の姫が舞っていてすごかったです。
- 【横堀岩戸神楽保存会】 ●魔払は衣装がきれいでもって素敵でした。 ●魔払の最後の帰りはが、一気にテンポが上がり、とても激しくなってよかったです。 ●柴曳では、客席と一体となって盛り上がりました。
- 柴曳とても面白かったです。引いてくださってありがとうございました。
- 【公演全体】 ●両神楽座さん、武者が激しくて素晴らしかったです。 ●みなさんの体力にはかないません。すごいなあと思いました。 ●いつも元気をもらっています。今日もよかったです。
- などたくさんの感想をいただきました。ありがとうございました。

次回公演のお知らせ

6月公演:6月16日(日)12:00~16:00(チケット予約受付中)



御嶽神楽

(豊後大野市清川町)

【演目】・太平楽・五穀舞
・誓約・綱伐・岩戸開・大神

入場料:(前売)一般:1,500円
中学生以下:1,000円
(当日券は500円増)

※15周年特別公演のため入場料、
開演・終了時刻がいつもと違います。

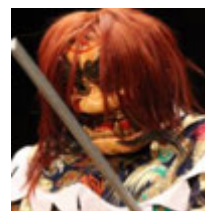
7月公演:7月21日(日)12:30~15:30(チケット予約受付中)

【出演団体】二豊神楽社/【演目】・太平楽・日割 庄内原神楽保存会/【演目】・貴見城・国司



神楽座さん紹介
コーナー

深山流朝地神楽保存会



☛【公式】深山流朝地神楽保存会Instagramはこちらから

このコーナーでは、神楽会館で公演をいただいた神楽座さんのご協力に基づき紹介いたします。今回は4月に公演を行った深山流朝地神楽保存会です。

1. 神楽座紹介 深山流岩戸神楽は、大分県豊後大野市朝地町市万田に鎮座する深山八幡社に伝承された大野系岩戸神楽です。深山流岩戸神楽の起源は、江戸時代中期より伝わり、「神楽解説書」によると、天明7年(1787年)と記録されています。また「深山文書」によると安政2年以降神楽を奉納したという記録が残っており朝地町を中心に、旧直入郡、竹田市、大分市及び庄内町にと広範囲な地域で舞い継がれております。現在朝地町を中心に豊後大野市内外より男女中学生から73歳まで30名の楽員によって構成しています。深山流の発祥地としての誇りを胸に、勇壮かつ軽快な舞を後世に伝えることを目標に、毎週土曜日の午後7時から2時間継承活動を行っています。

◎楽員数30名(男:21名・女:9名) うち20歳以下 16名(男:9名・女7名) 平均年齢…33.8歳

2. 活動目標 深山流の発祥地としての誇りを胸に、勇壮かつ軽快な舞が特色の深山流神楽【昭和41年3月に大分県の無形民俗文化財「深山流岩戸神楽 朝地神楽」として指定】の保存継承活動を続けていき、深山流岩戸神楽36番の保存継承活動を続けてまいります。

3. 今後の公演予定

○普光寺あじさい祭り:令和6年6月16日(日)11時~ 2番

○道の駅あさじ神楽大会:令和6年6月16日(日)10時~15時

○大分市ふじが丘納涼盆踊り大会:令和6年8月17日(土)16時~17時30分

○第17回大分アジア彫刻展:令和6年10月6日(日)

○第25回深山流岩戸神楽交流大会:令和6年12月1日(日)

